

8月定例活動「巣箱づくり」

永田 修二

8月28日、山根コミセンで定例会を行いました。今回は野浪さんの指導による「巣箱づくり」です。

当日は、小泉産業の社員とご家族10組ほどの参加もあり、部屋が狭く感じられるほど大変な盛況ぶりでした。



▲野浪さん指導のもと着々と巣箱が組み上がる

さすが、我がくらぶでの「もの作りナンバーワン」野浪さん、準備は万全。材料は正確に切りそろえられ下穴まで空けてあります。（まるで市販の巣箱キットのよう！）見本を見ながら順序

良くネジを使って組み立てていきます。こどもやお母さんたちには、野浪さんの懇切丁寧な指導も手伝い、午前中で20個もの立派な巣箱ができあがりました。また、できあがった巣箱の背面には、各々サインを書き込んで、製作した人たちが一層愛着の持てるものになりました。



▲各々が作製した巣箱を持って記念撮影

コミセンで昼食をすませた後、午後は森に行き、ウッドデッキ辺りで、こどもたちが巣箱の端材で工作をしたり、小泉産業の方たちとくらぶのメンバー

が親睦を深め、また森の中を散策したりと、思い思いにひとときを過ごしました。



特別活動のご案内 『巣箱点検と巣箱かけ』

今回作った巣箱は、野浪さんが持ち帰り、防腐剤を塗布してもらって11月の特別活動で取り付けます。

巣箱を作った人も、そうでない人も巣箱の取り付け作業に、是非足を運んでください。

【日時】11月14日(日)

AM9:00~

【集合場所】集いの広場

【講師】古澤さん

(日本野鳥の会愛知県支部会員)

“こどもエコカレッジ” 支援活動

真弓 浩二

5月30日のエコバンクあいち主催のこどもエコクラブのイベントには、中島さん、伊藤さん両夫妻、近藤真史さん(親子)、私と6名のメンバーの他「荒池ふるさとクラブ」の方々も応援に来ていただき、50名を超える参加者の皆さん達と楽しい1日を過ごしました。

午前中はまず、相生口の竹林で竹伐りから始まりました。参加した親子らのなかには竹を切るのが初めての人も多く、悪戦苦闘しながらもみんな楽しそうでした。



▲数名のグループに分かれて竹切りに挑戦



▲食器に使う竹は枝を丁寧に切り払う

切った竹を集いの広場まで運び、その竹で食器などを作った後、お昼には竹卵焼き、豚汁、竹パンを味わいました。



▲竹工作に夢中のこどもたち

午後は伊藤(百)さんの水鉄砲作り、中島さんの野菜でっぼうづくりにこどもたちが群がりました。

また、伊藤(晶)さん、中島(ひ)さんがこどもたちをつれて、森の中を探検、みなさん夏のオアシスの森を十二分に満喫してもらえました。



▲みんな、竹パンは上手に焼けたかな？

プロパンガスが途中で切れて、竹炭が大活躍、卵焼きも竹パンもおいしくできました。

炭焼に汗を流していただいた皆さんありがとうございました。